



# 2020世界の映画祭から見る VRストーリーテリング作品の傾向

Supership株式会社 VR戦略企画室VRコンテンツプロデューサー  
**待場 勝利**

3DCG & VRアーティスト  
**伊東ケイスケ**

- 
- 1, 自己紹介
  - 2, 2020映画祭の状況 (待場勝利)
  - 3, 注目の作品 (待場勝利)
  - 4, 第77回ヴェネツィア映画祭VR部門ノミネート作品  
「Beat」のVR表現について (伊東ケイスケ)
  - 5, Q&A

## 待場勝利 (Katsutoshi Machiba)

Supership株式会社VR戦略企画室所属。東京藝術大学非常勤講師。Mogura VRにて「VR映画ガイド」連載中。  
アメリカで映画製作を学ぶ。TVディレクター、20世紀フォックスホームエンターテイメントジャパンで日本語版プロデューサー、サムスン電子ジャパンではGear VRを担当。2016年から数々のVRプロジェクトをプロデュースし、国内外のVR映画作品を世界中の人们に紹介するため奔走。日本国内でVR映画を体験する場所としてオンラインポータルサービスやロケーションベースサービスのローンチにも携わる。

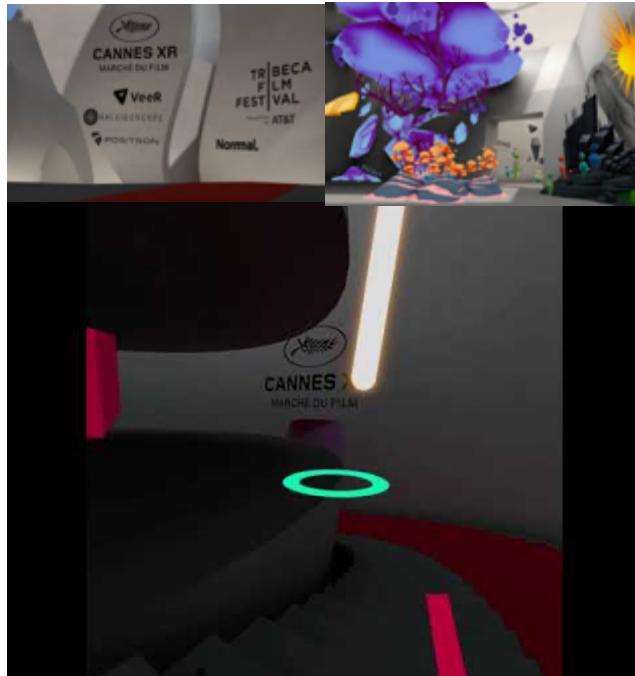
- (2020) 第77回ベネツィア映画祭VR部門コンペティションノミネート作品「Beat」をProducerとして制作
- (2019) 第24回釜山国際映画祭にて日本のVR映画プロデューサーとして「VR映画について」講演
- (2019) 第76回ベネツィア映画祭に正式招待上映作品「Feather」をProducerとして制作
- (2019) Google主催のVR Creators LabにてVR企画が選出される。DirectorとしてGoogleの支援を受けてVRドキュメンタリー作品を制作
- (2018) 上田慎一郎監督(カメラを止めるな!)、VR映画「Blue Thermal」をProducerとして制作。カンヌ映画祭に招待上映
- (2017) VR映画「ウルトラマン ゼロVR」にProducerとして制作。ルミエールアワードジャパン準グランプリ獲得。またカンヌ映画祭、釜山映画祭など数々の映画祭で招待上映
- (2017) ポニーキャニオン社とVR DEAD THEATERシリーズをローンチ。4本のVRホラー映画をProducerとして制作。国内外映画祭で招待上映。
- (その他) VR映画10作品以上に携わる。またVR関連のプロジェクトとして、音楽LiveやスポーツなどのVR映像を幅広くプロデュースし、国内映画祭ショートショート映画祭、Skipシティ国際Dシネマ映画祭のVR部門のアドバイザーやシーグラフアジアの審査員、釜山国際映画祭2019では「VRとストーリーテリング」について講演。



コロナの影響で世界の映画祭のほとんどがキャンセル、延期、オンライン開催に変更。  
特にVRは接触等を考えると各地ロケーションでの体験を断念する映画祭が多かった。  
映画祭としては急な対応だったため、非常に難しい状況だった。

	TRIBECA FILM FESTIVAL	<b>Cancelled</b>
	SXSW	<b>Online開催</b>
	BUSAN International Film Festival	<b>VR部門Cancelled</b>
	Annecy Animation Festival	<b>Online開催</b>
	SANDBOC IMMERSIVE FESTIVAL	<b>Cancelled</b>

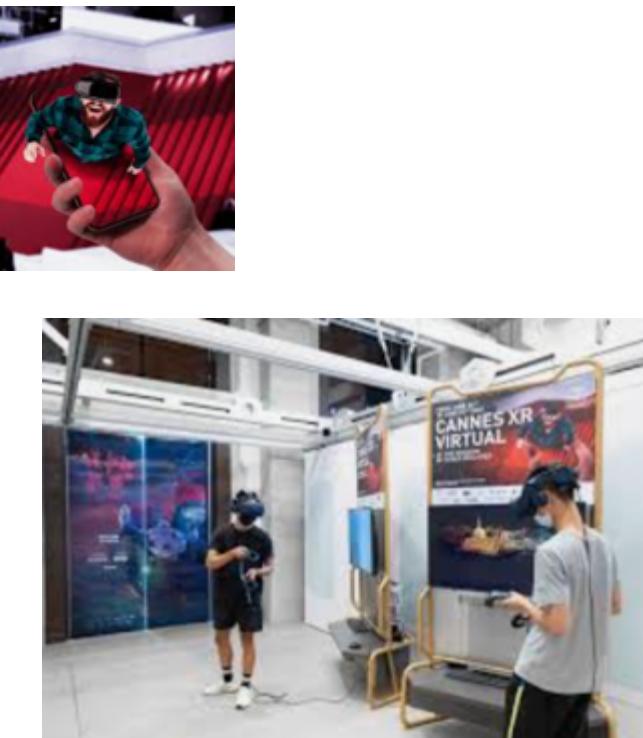
カンヌ国際映画祭内で行われる予定だった「Cannes XR 2020」だったが「Cannes XR Virtual」としてオンラインで開催となった。カンヌ国際映画祭のMarchedu Film, Tribeca Film Festival, Kaleidoscope, Museum of Other Realities, VeeR VRなど世界中のVRプラットホームと連携して完全なるバーチャル開催を目指した。



バーチャル空間で全作品の体験、  
イベントなどコミュニケーションを可能にした  
\*Museum Of Other Realities



外部のVR映像プラットホームを利用して、  
360動画作品も期間限定で配信



VRデバイスを持っていない  
ジャーナリストやゲストのために  
現地開催も小規模で行った

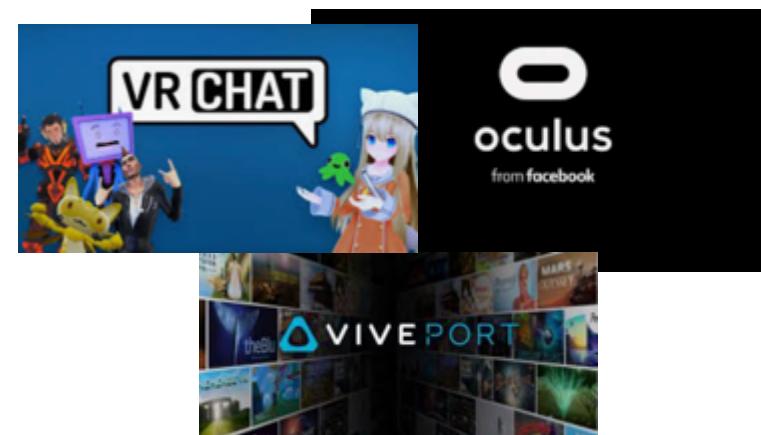
世界中の映画祭がコロナで大変な中、Venice Film FestivalのVR部門「Venice VR」から完全なるバーチャル開催への移行を反映して「Venice VR Expanded」とブランド名を変更。今後現地開催が行われたとしてもバーチャル開催は進めていくと表明。



イベントやパーティーなどをバーチャル開催(VRChat)



3dof作品が体験できる会場



6dof作品が体験できる会場



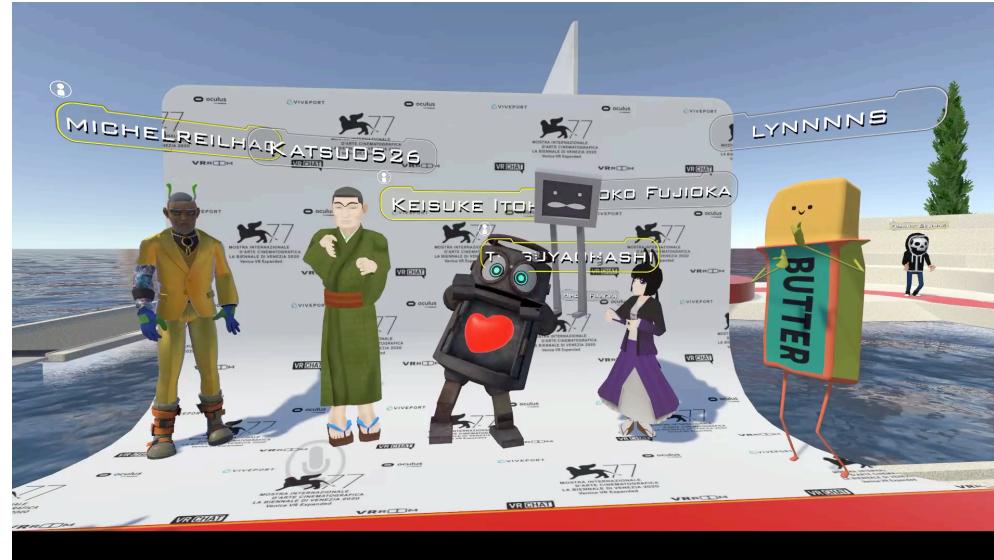
世界中のロケーションにサテライト開催<sup>6</sup>

## Competition (31 作品)

### LINEAR

#### Biennale College Cinema VR(4作品)

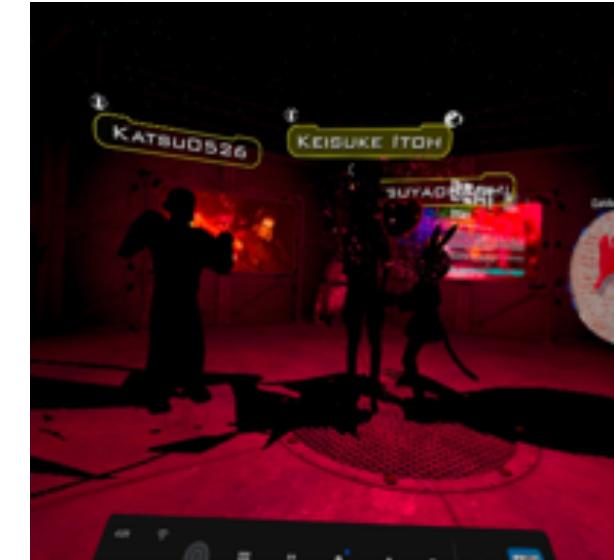
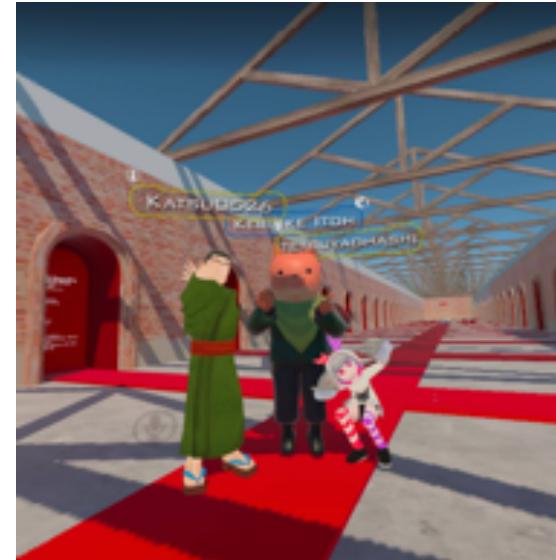
イタリア・ビエンナーレが主催するワークショップ「Biennale College Cinema Virtual Reality」を経て完成された作品。（「Feather」はこのカテゴリー）



### INTERACTIVE

#### Best of VR(9作品)

既に他の映画祭等でプレミア上映（初回上映）がされており、コンペティション対象外ではあるが、特別に上映された作品。





## 高雄映画祭2019ノミネート、Tribeca Film Festival2020ノミネート

監督：Chi-Yen Hsu

制作国：台湾

体験可能な場所：未定

ある夏の午後に古い祖母の家に集まった家族の話。車椅子に座った祖母(=体験者)は家族の様子をそっと見つめる存在。そんな祖母の目の前で何気ない家族のやり取りが静かな感動を生む。

この作品は監督と監督の本当の親戚が出演しており、非常に自然な演技が素晴らしい



Venice Film Festival 2020ノミネート

監督：FAN FAN

制作国：中国

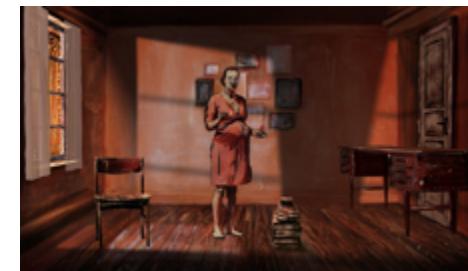
体験可能な場所：未定

ある別荘で行われる生番組中に途絶、出演者の一人が死んだ。

果たして事故なのか？殺人事件なのか？一体誰の仕業なのか？

真実を見つけるのは一部始終を見ているユーザー。

<https://www.facebook.com/watch/?v=757536198372033>



Venice Film Festival 2020グランプリ受賞

監督：Michelle Kranot, Uri Kranot

制作国：デンマーク、フランス、カナダ

体験可能な場所：未定

アメリカの詩人Carl Sandburgの詩に基づいて制作された作品。

絞首刑執行人が夜、仕事から家に帰る時、何を思うだろうか？

体験者は5つの危うい瞬間に出会います。その時あなたは何を思うのか？

すべてが相互につながる  
「よりよい」世界を実現する